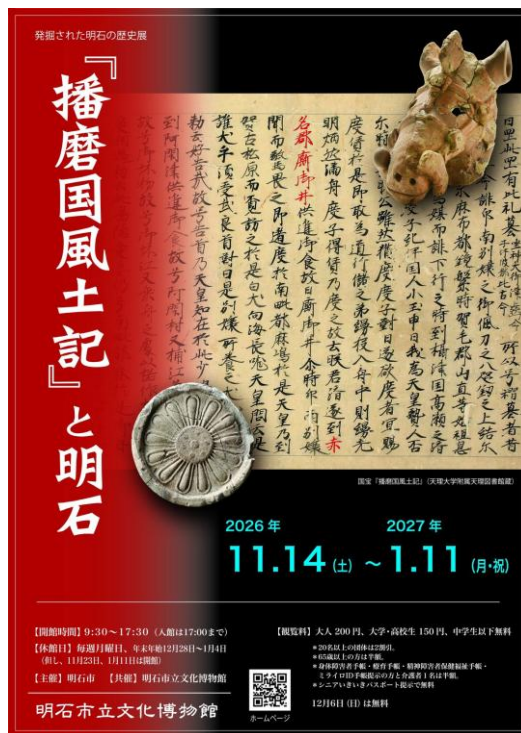


「発掘された明石の歴史展 『播磨国風土記』と明石」 開催決定のお知らせ

会期 | 2026 年 11 月 14 日（土）～2027 年 1 月 11 日（月・祝）



開催趣旨

奈良時代に編纂された『播磨国風土記』は、播磨各地の地名の由来や伝承などを今に伝える貴重な記録です。しかし、残念ながら明石郡に関する部分は失われています。もしも残っていたら、遺跡として今に残る寺院やお墓などの謂れや名称の由来について、きっと触れていたことでしょう。

市内及び周辺の遺跡からの出土品を、時代やテーマを変えて毎年紹介する「発掘された明石の歴史展」。今回は、風土記の時代である 7～8 世紀の遺跡から出土した遺物を中心に展示し、井戸から車輪石や銅鏡などが出土した藤江別所遺跡や、明石駅家に関わる瓦が出土した大蔵中町遺跡など、発掘調査の成果から当時の明石の姿を描きます。

本展のみどころ

- 1 藤江別所遺跡の車輪石・銅鏡など、古代の祭祀を物語る出土品を紹介
- 2 明石駅家・邑美駅家に関わる瓦などから、古代の交通の拠点「駅家」の姿に迫る
- 3 神戸市・兵庫県立考古博物館・多可町など、周辺地域の出土品もあわせて公開

開催概要

展覧会名	発掘された明石の歴史展 『播磨国風土記』と明石
日時	2026 年 11 月 14 日（土）～2027 年 1 月 11 日（月・祝） 9：30～17：30 （入館は 17：00 まで）
休館日	月曜日 ※11 月 23 日、1 月 11 日は開館 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観覧料	大人 200 円、大学・高校生 150 円、中学生以下無料 ※ 20 名以上の団体は 2 割引、65 歳以上の方は半額 ※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロ ID 手帳提示の方と 介護者 1 名は半額 ※ シニアいきいきパスポート提示で無料、12 月 6 日（日）は観覧無料
会場	明石市立文化博物館 1 階 特別展示室 （兵庫県明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号／JR・山陽電鉄「明石」駅より北へ徒歩 5 分）
主催	明石市
共催	明石市立文化博物館

展示構成

第 1 章 古墳時代の明石

円筒埴輪・須恵器（三番割古墳 明石市所蔵）・馬形埴輪（寺山古墳 明石市所蔵）・丸木舟木棺（東仲ノ町遺跡 明石市所蔵）・金銅装杏葉・轡・雲珠（狩口台きつね塚古墳 神戸市所蔵）・線刻石（高塚山 2 号墳 神戸市所蔵）・金銅装単鳳環頭太刀柄頭（三木市窟屋 1 号墳 兵庫県立考古博物館所蔵）ほか

第 2 章 7 世紀代の明石

棒状石製品・製塩土器（東野町遺跡 明石市所蔵）ほか

第 3 章 明石郡衙

木簡・円面硯・帯飾り金具（吉田南遺跡 神戸市所蔵）・墨書土器（出合遺跡 岡山理科大学所蔵）ほか

第 4 章 駅家

播磨国府系瓦（大蔵中町遺跡・天文町遺跡 明石市所蔵）・古大内式軒平瓦（魚住清水遺跡 明石市所蔵）・円面硯・本町式瓦（硯町遺跡 明石市所蔵）・古大内式軒丸瓦（長坂寺遺跡 兵庫県立考古博物館所蔵）ほか

第 5 章 寺院

須恵器・銅碗など（御屋敷遺跡 明石市所蔵）ほか

第 6 章 邑美頓宮と名寸隅船瀬

須恵器（多可町東山 1 号墳 多可町所蔵）ほか

第 7 章 古墳時代の祭祀遺跡

車輪石・銅鏡（藤江別所遺跡 明石市所蔵）・滑石製品群（新方遺跡 神戸市所蔵）・人形土製品（寒鳳遺跡 神戸市所蔵）・土馬（相生町遺跡 明石市所蔵）ほか

※展示資料は現時点の予定です。

関連イベント

※参加日ごとに当日の観覧券が必要です。

1. 講演会とシンポジウム

日時 2026 年 12 月 13 日（日） 13：00～16：30

場所 2階大会議室（受付 12：30～）

内容 基調講演「『播磨国風土記』と邑美里」
菱田 哲郎氏（兵庫県立考古博物館館長）

基調講演「明石太寺の創建」
春成 秀爾氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

基調講演「『播磨国風土記』にみる古代の社会」
高橋 明裕氏（立命館大学非常勤講師）

シンポジウム

パネラー：菱田 哲郎氏・春成 秀爾氏・高橋 明裕氏
コーディネーター：丸山 潔氏（明石市文化財保護審議会委員）

参加方法 要申込、先着順（定員 80 名）※申込方法は下記参照

2. 報告・講演会

日時 2027 年 1 月 9 日（土） 13：00～15：00

場所 2階大会議室（受付 12：30～）

内容 報告「風土記関係の遺跡の調査から」
稲原 昭嘉（明石市歴史文化財担当）

講演会「古代明石の歴史世界—風土記と海上交通—」
古市 晃氏（神戸大学大学院人文学研究科教授）

参加方法 要申込、先着順（定員 80 名）※申込方法は下記参照

【申込方法】

・11月5日（木）10：00～各イベント前日 15：00 まで、申込フォームから先着順（定員 80 名）で受け付けます。

申込フォーム 1. 講演会とシンポジウム（12 月 13 日）：<https://logoform.jp/f/HSYM2>

2. 講演会（1 月 9 日）：<https://logoform.jp/f/z1ETt>

・申込フォームから申し込みできない場合は、電話でお問い合わせください。

歴史文化財担当 TEL：078-918-5629（日曜・月曜・祝日・11 月 24 日（火）を除く 9：00～17：30）

・1 グループにつき 4 名まで申し込みできます。※各イベントでは、手話通訳者・要約筆記者の派遣が可能です。手話通訳・要約筆記希望の方は事前にご連絡ください。（直前にお申込みの場合はご対応できない場合がございます。）

お問い合わせ先

担当 明石市役所 市民生活局 文化・スポーツ室 歴史文化財担当（上田・高栖・稲原）

所在地 〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号 明石市立文化博物館内

連絡先 TEL：078-918-5629 FAX：078-918-5633

Email：rekishi-bunkazai@city.akashi.lg.jp（展覧会内容について）

Email：press@akashibunpaku.com（広報関係について）

広報用画像



1 漁撈具（東野町遺跡 明石市所蔵）



2 軒平瓦（大蔵中町遺跡 明石市所蔵）



3 馬形埴輪（寺山古墳 明石市所蔵）



4 車輪石と銅鏡（藤江別所遺跡 明石市所蔵）



5 円面硯（吉田南遺跡 神戸市所蔵）



6 土馬（相生町遺跡 明石市所蔵）

■明石市立文化博物館 宛

令和8年度

「発掘された明石の歴史展 『播磨国風土記』と明石」

FAX ご連絡先 (078) 918-5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。

本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券（最大 10 組 20 名様まで）もご用意可能です。ご希望の際はご連絡ください。

番号 必要キャプション及びクレジット

- 1 漁撈具（東野町遺跡 明石市所蔵）
- 2 軒平瓦（大蔵中町遺跡 明石市所蔵）
- 3 馬形埴輪（寺山古墳 明石市所蔵）
- 4 車輪石と銅鏡（藤江別所遺跡 明石市所蔵）
- 5 円面硯（吉田南遺跡 神戸市所蔵）
- 6 土馬（相生町遺跡 明石市所蔵）

貴社名		
媒体名	（新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他）	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
写真到着希望日		

・データの使用は、本イベントの紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。

・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。

・本イベントに関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（DVD など）をお送りくださいますようお願い申し上げます。

・本イベント会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。

・Email：press@akashibunpaku.com（広報）への送付も可能です。